横手市 横手川 洪水ハザードマップ

保存版

ハザードマップの使い方

このマップについて

このハザードマップは、台風や豪雨による水害などに日頃から備えるべく、危険箇所をはじめ、避難に必要な避難場所・防災関連施設などを、市民のみなさんが確認できるように作成したものです。万が一の場合に備えて、安全な避難に役立ててください。

安全避難のポイント

避難するときは
- □ 避難する前に火元などをチェックする
- □ 近所に声をかける
- □ 荷物は少なく、歩いて避難する

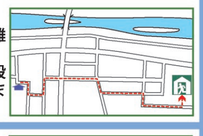
避難所では
- □ 近くの人と協力しましょう

マップの使い方について

災害に備えて

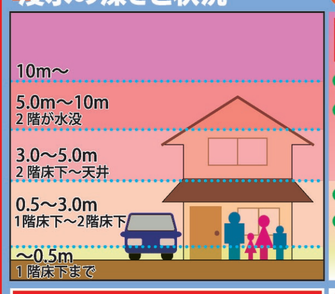
1 自宅や勤め先、学校などの周辺の危険箇所をハザードマップで確認しましょう。

2 あらかじめ、避難場所や避難経路、家族との連絡手段などを話し合いましょう。



3 日頃から非常時持ち出し品を準備しておきましょう。

浸水の深さと状況



家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水時に家屋の倒壊や流失をもたらすような激しい氾濫流や河岸侵食のおそれがある地域です。

早めの避難が必要な区域です

避難行動

早めの避難が必要な区域です

- 浸水しない場所へ避難
- 氾濫がすでに始まっている場合などは近くの安全な場所へ
- 原則浸水しない場所へ避難
- 周囲が危険な状況になり、避難が出来ない場合は、屋内の 2 階など安全な場所で待機

■土砂災害警戒区域・特別警戒区域

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）
- 特別警戒区域（レッドゾーン）
- 警戒区域（イエローゾーン）

土石流
- 特別警戒区域（レッドゾーン）
- 警戒区域（イエローゾーン）

地すべり

横手市　令和3年

災害・避難カード（記入したら、コピーするか各自が携帯電話で撮影して保存）

集合場所

災害別	一時避難場所（集合場所）	避難先（第一候補）	避難先（第二候補）
河川の氾濫			
土砂災害			
地震			
家族が離散しているときの集合場所			

家族の連絡先等

氏　名	血液型	電話番号（携帯・会社・学校）	メールアドレス	メ　モ

※被災地外の親戚・知人も記入しておきましょう。

非常時に持ち出すものは

避難するときに備蓄品すべてを持ち出すことは困難です。リュックサックなどの非常持ち出し袋に入れて最優先で持ち出す一次持ち出し品と、避難生活が長引く場合に後で自宅に取りに行く二次持ち出し品に分けておくと便利です。

また、感染症対策として、マスク等も準備しましょう。

●非常時一次持ち出し品（例）

大雨が予想されるとき

大雨が降ると川があふれます

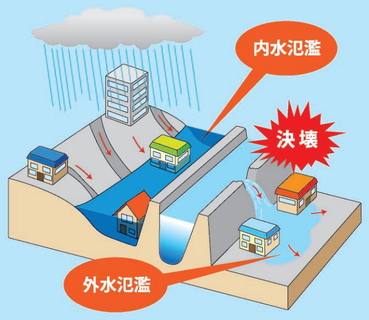
●川の氾濫（内水氾濫・外水氾濫）

内水氾濫

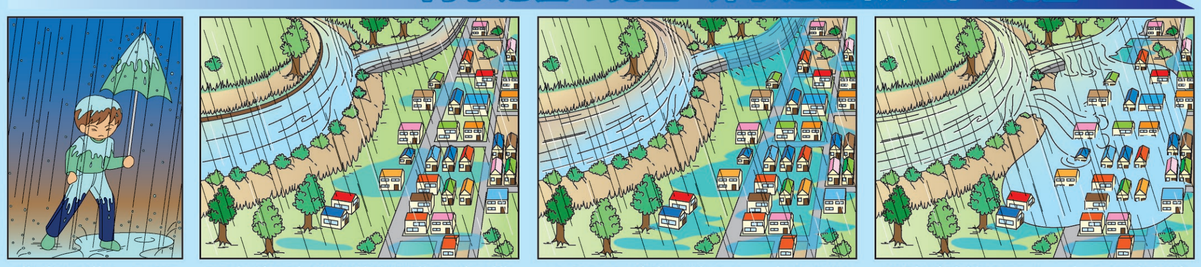
雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できずに、浸水することがあります。

外水氾濫

大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。



内水氾濫の発生　外水氾濫（洪水）の発生



非常に激しい雨が降ると・・・

雨水が下水道や道路側溝などで排水できずに溜まります。

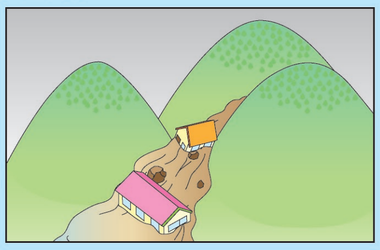
さらに雨が降り続くと、大きな河川の水位が上昇し、中小河川の排水が難しくなりあふれ出す恐れがあります。

堤防が決壊すると、大きな被害が発生します。

土砂災害とは

土砂災害は、土石流、がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）、地すべりの 3 種類に分類されています。

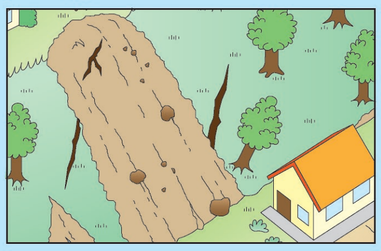
●土石流



- 山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などの影響によって、一気に下流へと押し流される現象です。
- 規模によって異なりますが、時速 20 ～ 40km という速度で、破壊力がとても大きいです。

土石流の前兆現象
- ●異常な山鳴り、地鳴り
- ●山の木がザワザワ騒ぐ
- ●木の裂ける音
- ●異常なにおい
- ●川が急ににごったり、流木が混ざり始める
- ●雨が降り続いているのに、川の水が減る

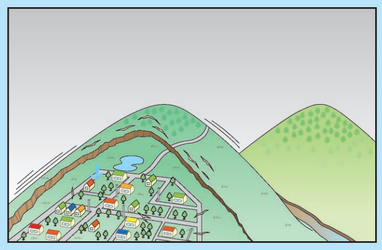
●がけ崩れ



- 急な斜面が雨水の浸透や地震などの影響によって、突然崩れ落ちる現象です。
- 突然発生し、かつ崩れるスピードが速いです。
- 崩れた土砂は、斜面の高さの 2 ～ 3 倍も離れた距離まで届くことがあります。

がけ崩れの前兆現象
- ●ひび割れが大きくなる
- ●木が揺れる
- ●小石がばらばら落ちる
- ●がけの上にひび割れができる
- ●根の切れる音がする
- ●木が傾いたり倒れる
- ●わき水がとまる（あるいは、噴き出す）

●地すべり



- 比較的緩やかな斜面が地下水などの影響によって、斜面下方へ移動する現象です。
- 斜面の表面部分が崩れ落ちる表層崩壊と、深層の地盤までもが崩れ落ちる深層崩壊があります
- 大雨や融雪時に発生しやすく、一度に広範囲が動くため、被害が大きくなります。

地すべりの前兆現象
- ●木の騒ぐ音、裂ける音がする
- ●流水や池などが濁る
- ●ひび割れ、段差ができる
- ●家が傾き、ふすまなどの開閉が困難
- ●水が噴き出す
- ●道路などにひび割れ
- ●電柱が傾く

雨が降り続いている時に、上記のようなことがあったら土砂災害がいつ起きてもおかしくありませんので、すぐに避難するようにしましょう。また、既に建物の外に出て避難することが危険な状況となっている際は、頑丈な建物で斜面とは反対側の 2 階以上の部屋へ移動することが有効な場合もあります。

大雨災害からの避難

平時に確認

避難行動判定フロー

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

あなたがとるべき避難行動は？　**必ず取組みましょう！**

ハザードマップ上で、自宅がある場所に色が塗られていますか？
- いいえ → 安全な場所にいる人は避難する必要はありません（※色が塗られていなくても、周囲より低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、必要に応じて避難してください）
- はい → 災害の危険があるので、**原則として、自宅の外に避難が必要です**
  - 例外 → 浸水の危険があっても、下記のすべてに当てはまる場合には、自宅にとどまり安全確保することも可能です
    - ①ハザードマップの「家屋倒壊等氾濫想定区域」外である
    - ②浸水する深さより高い所にいる
    - ③水、食料などの備えが十分にある

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？
- いいえ → 安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか？
  - はい → 警戒レベル **4** が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）
  - いいえ → 警戒レベル **4** が出たら、**指定緊急避難場所か、地域で決めた避難場所があればそこに避難**しましょう
- はい → 安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか？
  - はい → 警戒レベル **3** が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）
  - いいえ → 警戒レベル **3** が出たら、**指定緊急避難場所か、地域で決めた避難場所があればそこに避難**しましょう

避難情報と取るべき行動

災害発生の危険性にあわせて、「警戒レベル」が発表されます。危険な場所にいる人は、警戒レベルにあわせて、危険な場所から避難しましょう。

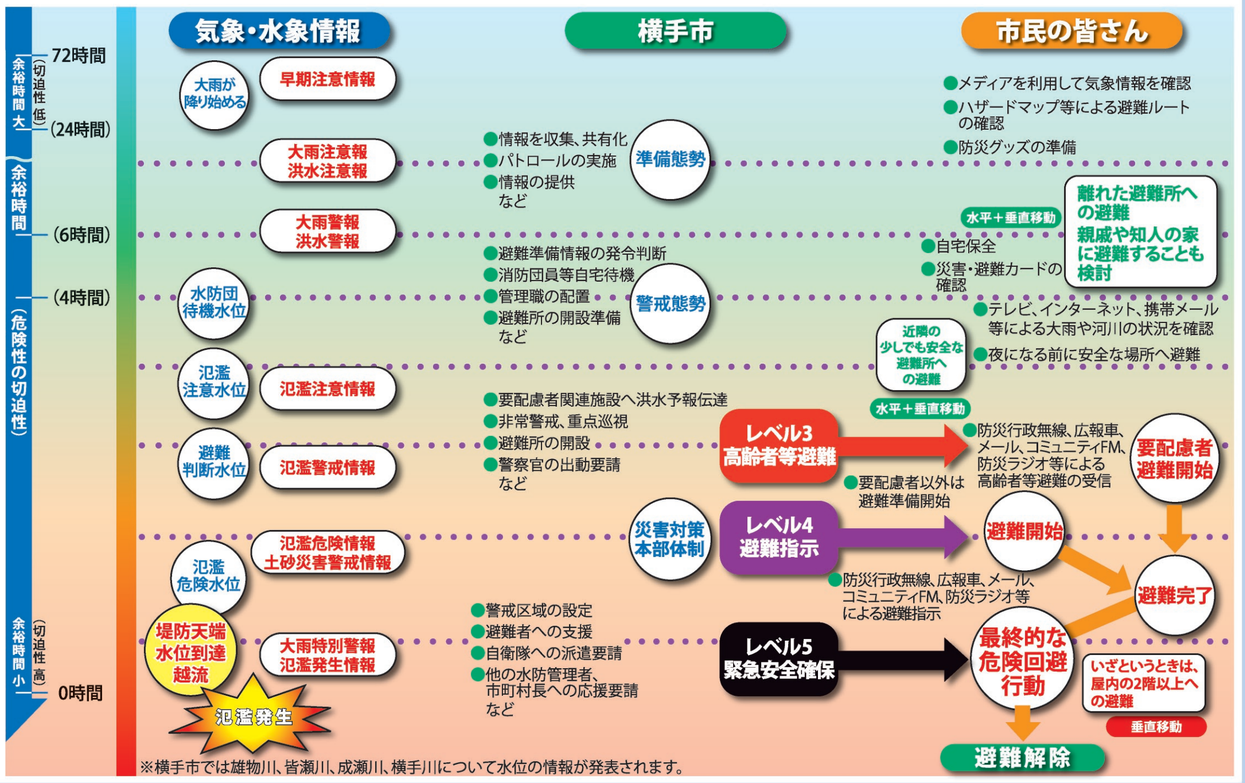
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険　直ちに安全確保	緊急安全確保※1
	～～～～～ <警戒レベル4までに必ず避難> ～～～～～		
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示〔注〕
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、【警戒レベル5】は、必ず発令されるものではありません。

※2【警戒レベル３】は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。また、警戒レベル３を発令せずに警戒レベル4 を発令することもあります。

〔注〕
- ! 安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。
- ! 避難時の状況によっては、指定された避難場所等へ向かうことにこだわらず、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、その時点の最善な安全確保行動をとることが重要です。
- ! 感染症対策を考慮し、市が指定する避難場所以外の避難先を複数件決めておきましょう。

風水害時の行動（タイムライン）



※横手市では雄物川、皆瀬川、成瀬川、横手川について水位の情報が発表されます。

情報収集

防災情報の入手方法

災害時の避難行動を適切に行うためには、正確な情報を速やかに入手することが大切です。災害時の情報は、横手市、防災関係機関、マスメディアなどから、様々な手段で提供されます。

インターネット

横手市のホームページから、市の防災の取り組みや災害情報、防災情報などについて、情報提供を行います。

●秋田地方気象台
秋田県内の気象情報、防災情報
観測情報など

●横手市ホームページ

●秋田県防災ポータルサイト

緊急速報メール

携帯電話の「エリアメール」、「緊急速報メール」の機能を使って、高齢者等避難、避難指示、警戒区域情報、その他の緊急情報を横手市内の携帯電話に自動的にお知らせします。

情報の受け取り方法については、携帯電話会社のホームページを参照ください。

防災ラジオ

横手市では身近で手軽な災害時の情報伝達手段として、防災ラジオの無償貸与を行っています。緊急時に横手かまくらＦＭから市の災害情報が放送される防災行政無線の機能をもったラジオです。

緊急時に自動的にスイッチが入る

通常はAM・FMの放送が聞ける

◆無償貸与の対象となる方（世帯）
①65歳以上の高齢者のみの世帯
②障害者手帳をお持ちの方がいる世帯
③地域を見守る方たち
（町内会長、民生児童委員、消防団幹部 など）

テレビ・ラジオ放送

テレビ・ラジオを通じて、防災番組、緊急放送、文字情報での情報提供を行います。また、インターネットを通しても閲覧が可能です。

●横手かまくらＦＭ　●よこてれび

防災行政無線

市内に設置したスピーカーから、警戒情報や災害情報、避難に関する情報などをお知らせします。

広報車

災害時に出動し、拡声器で注意を呼びかけます。

登録制メール配信サービス「安全安心メール」

受信事例

横手市では、防災行政無線の放送内容、気象・震度情報、災害情報をあらかじめ登録された携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせするメール配信サービスを行っています。

●よこて安全・安心メール

フェイスブック、ツイッター

災害時には、市のホームページが閲覧できなくなることが想定されます。そのため、様々な手段を用いて情報発信ができるように「ツイッター」、「フェイスブック」でも緊急情報等を発信します。

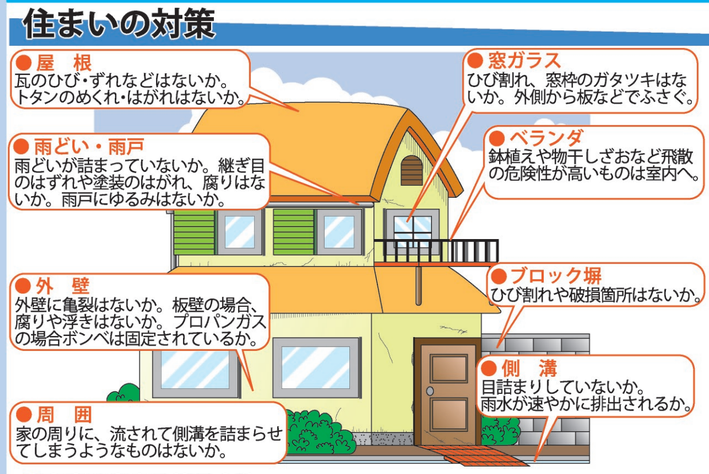
●横手市公式フェイスブック

●横手市ツイッター

災害時は停電になる可能性があるので、ラジオの準備をしておきましょう。

日頃の備え

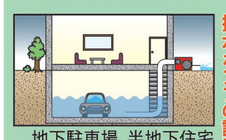
住まいの対策



●住宅の浸水被害を防ぐためには

土のう
出入り口に土のうを置き、雨水の浸入を防ぎます。

止水板
出入り口に長めの板などを使い、浸水を防ぎます。



地下室への排水ポンプの設置
地下駐車場、半地下住宅では、排水ポンプを設置し、浸水に備えましょう。

側溝や雨水ますの集水口の確認
道路側溝や雨水ますの集水口の落ち葉などを取り除いておきましょう。

●家庭で出来る簡易水防

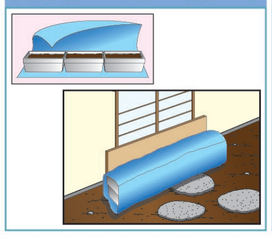
浸水が浅い場合には、土のう（なければ水のう）を設置することで、浸水防止に活用できます。

簡易水のうの作り方

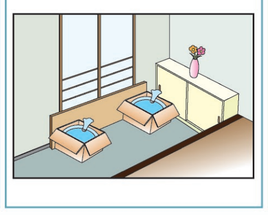
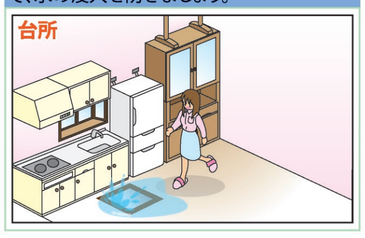
ゴミ袋に水を入れる。

ひもやテープでしっかりと縛る。段ボールに入れると固定しやすく強度も上がる。

簡易水防①　プランター＋ビニールシート



簡易水防②　簡易水のう＋止水板



床下が浸水すると、床下収納のふたが開いて、水が入ることがあります。重しを置いて、水の浸入を防ぎましょう。